羽下地内の架橋を促進

輸送力強化のためにも

（二面より続き）

早出川の羽下地内に橋を架けることについて、強力に実現することを要望しているが…

▲答▼新津市は野菜類の大きな消費地である が、新潟市は更に野菜の大量消費地である。新潟市が、新潟間の道路の完備によって益々野菜が大量に必要になりつつある。従って早出川の向側地域の野菜を新津市に直結する要望が高まっているので、早出川の羽下地域に橋を架け、羽下、下新、金屋の道路を整備し、輸送力を強めることは、新津市の野菜産業の期待にあり、これが実現を期したい。

土地改良事業のうち市新地区の新規改良事業は現在資金に困難な状態にあり、これが資金の円滑な援助を要望しているが…

▲答▼◆年度作付を目途として、工場に着手したい。もし国の融資がおくれたために事業の進捗を妨げるようなことのないよう、それぞれの系統関係の促進運動やら、また他の金融関係からの つなぎ資金の導入等の方法を講じて工事の完成に援助するつもりである。

市長選は6月16日

6月6日告示で

告示　六月六日
投票日　六月十六日

この程この市長選について次のような予定を発表した。

本年六月二十四日で市長の任期が満了するが、市選挙管理委員会では、

公明選挙運動を推進

新津はモデル地区

六月の市長選挙を前にして、市選管では、公明選挙運動を積極的に推進する目的で前十時から、その結果、新津市の有権者数は次のとおりとなった。（）内は旧新潟分

	男	女	計
新津市	一四、五五六（九〇五人）	一四、五六六（一一〇七〇人）	三〇、一二二（二〇一八六人）
農業委員選挙人名簿	五、三六七人	五、八一一人	一〇、一七五人
計	一九、九二三人	二〇、三八七人（五九九四人）	四〇、三一〇人

市選管では、新潟村の合併に伴って、三月二十五日関係部分の選挙人名簿の引継ぎを行ったが、

市選挙管理委員会では、

本年六月二十四日で市長の任期が満了するが、

この程この市長選について次のような予定を発表した。

告示　六月六日
投票日　六月十六日

……スライドを使っての講習会……

新津市では、公明選挙運動の推進のモデル地区として、新津市が指定されたことの報告があり、

川瀬公民館長、荒井事務局長、地域の指導者講習会を開催した。

講師には、県選管より村島喜代委員、取締官局から本間新津警察署長、

農業委員選挙人名簿（五九九四人）

計　二〇、三一〇人（二一、二八六人）

町村交付金及び納付金に関しては、国や地方公共団体、又は日本専売公社、国有鉄道、電信電話公社など、いわゆる三公社が所有する固定資産に対しては、従来宿舎などを一部に貸付しているこの見込固定資産税を課税することができなかったのたが、昭和三十一年度分から、「国有資産等所在市町村交付金及び納付金」というものが新設されて市の収入になることとなった。

財政再建に重要な役割

―三公社の納付金―

当市では、国鉄関係の施設が特に大きいので金額も相当大きく、昭和三十一年度分の交付金納付金の収入総額は七百六十三万円となっている。この額は昭和三十一年度分については算定基準の額は昭和三十二年度からは二百六十万円となっている。

昭和三十二年度分の一額となっているので、三十二年度からはこの倍額程度の収入が見込まれることになって

一税収力を財源として、恭学財政再建に重要な役割を果すことになった。

（税務課）

固定資産税（住宅）を軽減

―住宅不足緩和のため、固定資産税を促進する目的で、当市では新築住宅に対して初めての三カ年間―

課税期間	適用住宅	床面積の制限	免除の額
昭和三十年一月一日から昭和三十二年一月一日までの間に新築した住宅	延べ三十五坪以下のもの	固定資産税全額の二分の一	
昭和三十二年一月一日から昭和三十三年一月一日までの間に新築した住宅	延べ三十五坪以下のもの	固定資産税全額の三分の一	

住宅不足緩和のため、固定資産税の軽減を申請によって免除することは、本年は次のとおりになるので該当する向は申請書を四月二十日までに提出されたい。

（用紙は税務課に備付けてあります）

野菜ぎらいの子供はいませんか

魚や卵はよくたべても野菜は嫌いでたべない、何とかして野菜をたべさせたいと毎日苦労しているお母さん方は案外多いと思われる。

偏食の場合先ず何が原因で偏食になったのかをよく考えてみる必要がある。子供の体のどこかに異常は起っていないだろうか。

一、生れつき余り丈夫でない子供は神経質で、のために可愛がりすぎばかりを与え、我儘に育ててきたのではないか。

二、家族の中に偏食する者はいないか。お父さんやお母さんの影響は大きい。

三、早く偏食をなおしたいなら、まず子供がいやがるものを強制しないで、嫌いなものを強制しないで、嫌いなものを強制しないで、嫌いな